

教 区 報

第120号 2023年12月

日本ハリストス正教会教団
東日本主教々区



発行：東日本主教々区宗務局

〒980-0021 仙台市青葉区中央3丁目4番20号

電話 022-225-2744 fax 022-224-3080

振替 02200-2-30428 「東日本主教々区宗務局」

<http://www.orthodox-sendai.com/>

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

主・神・我が救世主 イイスス・ハリストスの降誕祭

『ハリストス我が神よ、爾の降誕は世界に知恵の光を照らせり、
此れによりて星に勤むる者は星に教えられて、
爾義の日を拝み、爾上よりの東を覚えり。主よ光栄は爾に帰す』

東方の三人の博士は夜空に輝く「星」に導かれ旅をし、ヴィフレエムの洞(家畜小屋)に着き、降誕された幼子イイススを拝し三つの贈物を献じた。神を称えて焚く乳香、人として埋葬を表す没薬、世々の王たる尊厳を表す黄金である。神によって真理を理解することを得た賢い三人の博士は、自らの信仰を贈物によって示した。

降誕祭のイコンには、洞に置かれた飼い葉桶が石の棺で描かれることが多い。これは神の子の降誕の目的、死からの復活による人類の救済を示すものであり、人の虚栄心の墓としている。私達のなかにある腐敗した良心や罪悪を洞に運ぶことによって、飼い葉桶は痛悔する者の救いの墓となる。私達は『悪事について幼子』となると心を入れかえて幼子のようになり、幼子イイススが成長されたように私たちも主と共に成長するのである。『ハリストスは私達の平和。

ふたつのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊した』(エフェス2:14)。

降誕祭を迎え、私達は喜びをもって神使と共に神を讃美し、神の愛に応え、痛悔の心をもって眞の生命の「道」を歩む信仰者となりましょう。



セラフィム府主教座下の着座式及び祝賀会 10/22 東京



白クロブーク、水色マンティヤと権杖を持つセラフィム府主教座下



高座に着座されるセラフィム座下



全国の神品と共に行われた聖体礼儀

東京の大主教及び全日本の府主教となられたセラフィム座下の着座式は、10月22日(日)に東京復活大聖堂において、ロシア正教会渉外局長府主教アントニイ座下を招いて、駐日ポドヴオリエと全国の神品、信徒代表らが集まって執り行われた。

聖体礼儀の中で、至聖所の高座に着座された府主教座下に、総主教聖下の贈り物として十字架と首座主教位を象徴する二つのパナギヤが掛けられた。また、聖体礼儀後には府主教位を示す白クロブーク、青いマンティヤと権杖が授与され、総主教聖下と教職者代表としてマルコ小池宗務総局長から祝辞が披露された。セラフィム府主教座下はこれからの抱負を述べられ、府主教座下と新体制で臨む教会の幾歳もを皆で祈願した。



日本ハリストス正教会教団所有 (撮影：中西裕人)



オヴェチコ代理大使



イエス会角田神父様



アントニイ府主教座下のご祝辞



祝賀会の乾杯



マトロナ姉のピアノ演奏



お祝いの贈呈



セラフイム府主教座下の答辞

祝賀会は、着座式後に如水会館（東京都千代田区一橋）にて、アントニイ府主教座下、ロシア代理大使、ルーマニア正教会駐日代表部やイエズス会など他教派の代表などを来賓として招いて行われた。来賓の挨拶後にマルコ小池宗務総局長の発声による乾杯で始まった祝賀会は、新首座主教着座の安堵と慶びに満ちた会となり、セラフイム府主教座下も多くの参加者と親しく懇談された。

会場では、仙台のマトロナ土田みつ姉と母のハリサ宇快姉の祝意をこめたピアノ演奏が披露され、慶びの宴に花を添えた。最後にセラフイム府主教座下へお祝いと花束が贈られると、府主教座下は答辞を述べられ、併せて私たち一人ひとりも豊かな信仰を育むよう励まされた。このようにして新首座主教の門出を祝う会は和やかなうちに終えた。



尊貴なる東京の大主教・全日本の府主教ダニイル座下ご永眠 8/10



▲セラフィム大主教座下ご司禱による埋葬式



▲弔辞を述べられる大主教座下



▲陪禱した神品らによって棺は聖堂を巡った

日本ハリストス正教会の首座である尊貴なる東京の大主教・全日本の府主教ダニイル座下（84歳）が、8月10日午後10時32分、緊急搬送された杏雲堂病院で間質性肺炎による呼吸不全のためにご永眠された。ダニイル府主教座下は昭和46年司祭に、平成11年に主教に叙聖され、翌12年に全日本の府主教となり、以来23年間にわたり日本正教会を導かれた。今回のご永眠を受けて、日本ハリストス正教会「憲法」第9条に則り、仙台の大主教及び東京の副主教セラフィム座下が首座主教代理に就任されたことが、8月11日付で通達された。

主教埋葬式はセラフィム大主教座下のご司禱により、8月16日(水)、17日(木)に東京復活大聖堂において教団葬として行われ、横浜外人墓地の主教墓地に埋葬された。葬儀はキリル総主教座下ご了解の下、外国からの弔問団を招待せず、また交通機関の繁忙期と台風の影響等を考慮し、三主教区宗務局長、東京復活大聖堂、駐日ポドヴォリエの神品教役者及び大主教座下指名の司祭の陪禱のみで執り行われた。

ダニイル府主教座下の永遠の安息を心よりお祈り申し上げます。

永遠の記憶

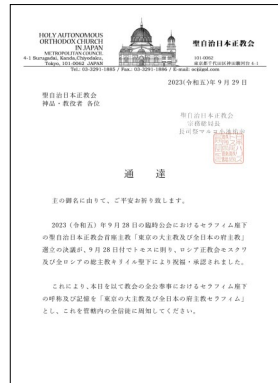
臨時公会の開催 9/28 東京



▼公会後にダニイル府主教40日祭パニヒダを献じた



8月のダニイル府主教座下の急逝を受けて9月28日(木)に新しい首座主教を選立する臨時公会が招集され、全会一致でセラフイム大主教座下を首座主教とすることが議決された。ロシア正教会との公文(トモス)の規定により、直ちにモスクワのキリル総主教聖下に報告され、同日付で「日本自治正教会の教会法的地位に関するトモスにのっとり、また貴座下を東京の大主教および全日本の府主教に選立するという日本自治正教会公会の決定に基づき、貴座下を日本自治正教会首座主教として承認し、日本における正教の牧群の霊的利益のために、神の栄光のための貴座下による首座主教としての任務を祝福する」と、新首座任命の祝福と辞令が表明された。



全国公会 7/8-9 東京



▲ニコライ会館で開催された公会本会議



▲休職される篠永師(右)

▲移籍された小野師(左)

7月8日(土)、9日(日)の両日、ニコライ堂で全国公会がコロナ禍以前の規模で開催された。諸活動や財務の報告は例年通り行われ、加えて、賃貸物件を購入し新たな事業収入を得て、教団財政の一助となすことや、九州地区の管轄区の再編や新規土地購入の援助を教団として行うこと、また、教団出版物の外販に初めて取り組むことなど、積極的な施策も承認された。

会期中、二人の誦経者の祝福、パウエル中西師の金字架佩用、イヤコフ篠永師の長司祭昇叙、パウエル及川師のミトラ戴冠の祝福、イオアン庄司師の輔祭叙聖も行われた。長年にわたり、札幌と北海道の宣教・牧会にご尽力された篠永神父様は7月で休職された。また、修道司祭ニコライ小野師のロシア正教会から日本正教会への移籍が報告された。



▲修善寺、柏久保教会の新誦経者祝福



▲パウエル及川師(左)とパウエル中西師(右)



▲イオアン庄司師の輔祭叙聖

東日本主教々区「教区会議」6/24-25 仙台



▲仙台信徒会館での教区会議(上)と理事会(下)



▲会議冒頭で訓示を述べられるセラフィム大主教座下

6月24日(土)、25日(日)に今年度の教区会議が、仙台正教会で開催された。24日(土)午後1時から教区理事会が開催され、教区会議に諮られる議案について事前の承認を得た。翌日にはセラフィム大主教座下のご司祷で主日聖体礼儀が行われ、教区会議参加者と仙台正教会信徒と共に参拝領聖した。

会議では業務、財務の諸報告や次年度業務計画と予算が討議され、承認された。その他、教区センター建立について、またその基金の計画についても説明された。会議の最後には、函館正教会復活聖堂の保存修理工事竣工が報告され、管轄司祭と執事長は、教区信徒の励ましやご加祷への感謝と、これからも日本正教会発祥の教会としての自覚を持ちながら取り組んで行く決意が表された。



日本ハリストス正教会 東日本主教区 北海道ブロック教会学校宿泊研修会

2023 8月2日(水) - 4日(金)

コナーズ遊池 海水公園での海水銃、磯遊び ハイキングや温泉

キャンプだホイ！ in あっさぶ

ワックワク盛り、トキドキ体験！
0-100歳まで楽しめるキャンプ！

宿泊地：“ハチャムの森”
鶴岡ムートキャンプ場
鶴山郡厚沢部町字木内90-1
Tel: 0138-65-6886

参加費：おとな 15000円
高校生以下 無料

締め切り：7月2日(日)まで

参加の申し込みは、所属教会または下記担当教会までご連絡下さい。
担当教会：函館ハリストス正教会 040-0054 函館市元町3-13
電話 0138-23-7387 Fax 0138-23-7939 frclment205@gmail.com



8月2日(水)から4日(金)の日程で、標記宿泊研修会が函館と上磯正教会が当番となつて、厚沢部町のオートキャンプ場「ハチャムの森」にて4年ぶりに開催された。全道各地から子供5人を含む33名が集まつて、海、山のアクティビティやバーベキュー、スイカ割、花火、そしてミニ盆栽作りなど、盛りだくさんの内容で行われた。

この行事の大きなねらいは、各教会から人々が一堂に会して、大人も子供も楽しい活動を通して交流を深め、ブロック全体の連帯感を持つことである。4年間のブランクは長かったが、こうして北海道ブロックの大切にしてきた行事が再開できたことは何よりの喜びであった。少子高齢化は、このような行事の開催を難しくしているが、今年を再スタートとして、新たに工夫を加えながら、人々を呼び込んで発展させていきたいものである。

秋の風情、八幡平を満喫！

2023年度東北日本主教区東北ブロック

信徒懇親会 & 教会学校修養会

今年度は信徒懇親会と教会学校修養会（キャンプ）を同時開催
自然豊かな環境で大人も子供ものびのびと交流を楽しみましょう
企画内容は現在観覧検討中！

日時 2023年10月8日（日）～9日（月・祝）
開催場所 八幡平温泉郷 八幡平ハイツ
参加費 未定
申し込み 各教会にて受付
問合せ 盛岡ハリストス正教会 019-663-1218



10月8日(日)から9日(月)にかけて東北ブロック信徒懇親会が行われた。新型コロナウイルス流行の影響で2020年と2021年は中止、2022年は日帰り企画として実施されたため、宿泊を伴う懇親会は実に4年ぶりの開催となった。

今年度は盛岡管轄区が開催担当となり、会場は岩手県八幡平市の八幡平ハイツという老舗のホテルとなった。当日は受付開始時刻の前から続々と参加者が到着し、久しぶりの懇親会への意気込みを感じることもあった。参加者は北は北鹿教会から南は仙台教会まで総勢38名となり、いつもの慣れ親しんだ面々から、このような企画への参加は初めてという方まで幅広い方々が集まった。

集合写真の撮影後、懇親会のメイン行事である夕食会が始まった。今回は食事のテーブル分けを教会毎ではなく、受付時のくじ引きで決めることとしたので、各テーブル、それぞれに各地の教会の信徒の皆さんが混ざり合うことになった。このアイデアを出した時、最初は知らない人同士が混ざり合っ、ちゃんとテーブル内は盛り上がるだろうか心配もしたが、始まってみればそのような心配は全くの杞憂で、各



テーブルで親しく会話と交流が行われており一安心だった。食事が落ち着いてきたころに余興のクイズ大会が行われ、東北の各教会の地域に関連した問題をテーブル対抗戦の形で競った。各地の参加者が各テーブルに混ざっていることもあってご当地クイズの正答率は非常に高く、テーブル内での話し合いが活発にされているように感じられた。クイズの後もまだまだ熱気が冷めやらぬ感じではあったが、夕食会はお開きとなった。翌朝は朝食を食べて解散。参加者それぞれが帰路についた。

4年ぶりの宿泊付きの懇親会ということもあり、改善点、反省点もあったが、信徒間の交流を図る目的は十二分に達成されたのではないだろうか。この会が東北ブロックの今後の発展に繋がるよう祈っている。



聖歌研修会 北海道・東北

9月9日(土)、10日(日)の両日に札幌正教会において北海道ブロック聖歌リーダー研修会が開催された。日頃聖歌隊をリードしている代表が集まり、講義、実技、討議の内容で研鑽を積んだ。聖歌隊の代表として日頃取り組んでいることや悩み事、目標、次回研修会の内容などを話し合った。

9月30日(土)と10月1日(日)に釧路正教会で各教会の聖歌奉仕者を集めて研修会が開催された。講義に加え、実技研修は発声練習、課題曲の確認、ハーモニーの作り方などを行い、主日の奉事では指揮などを分担しながら実技に臨んだ。

研修の振り返りでは、参加者一人一人が感想を述べながら、研修会に対する要望や自身の課題など、多岐にわたる話し合いが行われた。今回の研修は大変内容の濃い充実したものになったと感想が寄せられた。



今年度の東北ブロックの聖歌研修は、「楽譜の読み方」という同じテーマと内容で場所を変えて実施した。9月23日(土)には仙台正教会で、11月23日(木)には盛岡正教会で行われ、仙台のダヴィド水口師が講師となった。研修では、配布資料だけでなく、プロジェクトを駆使した説明によって、音階の仕組みから、音符の長さの事、強弱の記号、速度の示され方など楽譜を読むための基礎知識を学び、それを踏まえて、正教会聖歌の特徴があげられ、どうやったら音を正確につかめられるかについても詳細な説明があった。

普段なんとなく歌っている聖歌を、きちんと楽譜を理解して歌うことで、より正確で美しいものにしようという狙いだったが、やや難しい内容に最初は参加者も戸惑っている印象もあったが、最終的にはある程度の理解が得られたように感じられた。



研修会記念写真（金成）



誦経奉仕者研修会 東北

11月3日(金)、金成正教会にて東北ブロック誦経奉仕者研修会が開催され、27人が参会した。発声の仕方、祈禱書の見方の各グループに分かれて指導を受け、心得として参拝者の心に静かに届けようとするこゝと、言葉をはっきり、声の大きさを整え、スピードは速すぎず、参拝者が聞きながら文字を追えるように、必ず下読みをし、回数を重ね、誦経に入る前の体の準備などを体験し学んだ。短い時間だったが、様々な学びがあり、所属教会以外での体験も貴重なものとなった。

宣教会議 東北・北海道

東北では10月19日(木)、一関正教会で宣教会議が開催された。連絡事項を確認した後、先日開催された聖歌研修会、信徒懇親会をふり返り、今後のあり方について話し合った。また誦経奉仕者研修会、宣教キャラバン、各種出版物などについても討議が行われた。

北海道では7月22日(土)、23日(日)に上武佐正教会で開催された。新たにポリカルプ佐藤兄(斜里)が宣教委員に加わり、上武佐教会のモイセイ長屋兄もオプザーバーとして参加した。会議ではキャンプ



東北ブロック宣教会議（一関）



北海道ブロック宣教会議（上武佐）

のこと、次年度のキャンプ開催地のこと、会議のリモート参加や伝道会について討議された。

11月25日(土)午後1時より、第2回宣教会議がリモート形式で開催された。すでに実施された会議、キャンプ、研修会の振り返りと、事前配布された各教会活動報告に対する質疑が初めに行われた後、予定されている誦経奉仕者研修会、拡大宣教会議についてや来年度のキャンプだホイ、継続検討している議題、委員から寄せられた検討課題について話し合われた。



リモートによる宣教会議

— 宣教献金のお願い —

＋主の御名によりてご平安をお祈りいたします。

皆様方のご理解とご協力を賜り、昨年度は 356 件、1,848,000 円の宣教献金が寄せられました。ここに改めて御礼申し上げます。しかしながら、宣教献金の総額は目標額を下回り、年々減少の傾向の道をたどっています。宣教献金は、教区の活動を支える貴重な資金です。この数年間はコロナ禍の影響で思うような活動ができませんでした。今は少しずつ教区活動を復活させています。ぜひとも今後の教区活動の活発化のためにご理解とご協力ください。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

■2023年度宣教献金目標額 200万円

■献金額 1 口 3,000円(1 口以上を目安にお願いいたします)

■献金方法 振替 02200-2-30428「東日本主教々区宗務局」

※ただし現金での振込の場合、別途手数料が発生するようになりましたのでご注意ください。

■期間 2023年12月7日 ~ 2024年5月31日

人物消息

— 敬称略 —

(2023年5月～2023年11月)

函館 上磯 アン ドレ イ 梅津 彰男 2月 18日	ワツサ 矢口 紀美子 11月 2日	フェオ ドル 久下 尚 11月 12日	ニーナ 三浦 ニーナ 10月 10日	ナタリヤ 酒井 修子 9月 9日	アキラ ナ 窪田 セイ 5月 23日	ニコライ 前田 俊一 5月 19日	クセニヤ 岡田 淑子 5月 3日	パウエル 佐藤 重平 8月 6日	ニコライ 田中 弥市朗 7月 28日	◆永眠 「教会名・聖名・氏名・永眠日」	釧路 ニコライ 田中 弥市朗 7月 28日	札幌 パウエル 佐藤 重平 8月 6日	一新 イオアン 小野 寺胤 10月 12日	一関 イオアン 小野 寺胤 10月 12日	盛 イリナ 千葉 恵美 5月 5日	クレオ パトラ 千葉 彩奈 5月 5日	カツシ アン 千葉 和樹 5月 5日	フォテ ナ 伊勢 絢子 6月 9日	マルク 伊勢 元晴 6月 9日	盛 イリナ 千葉 恵美 5月 5日	エレナ 山田 聖奈 8月 27日	シメオン 山田 聖真 8月 27日	函館 ◆洗礼 「教会名・聖名・氏名・受洗日」	アフア ナシイ 藤崎 裕之 6月 4日
--	-------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------------

※洗礼おめでとうございます。

盛 マキシム 伊勢 正篤 6月 10日	◆婚配 「教会名・聖名・氏名・婚配日」	白河 イラリオン 渋木 誠一郎 7月 19日	中 新田 レオ 佐藤 邦夫 8月 22日	中 新田 マルファ 工藤 まさみ 10月 21日	仙 台 ファイワ 加川 敬子 10月 5日	涌 谷 ロマン 木村 恭 11月 2日	石 巻 イヤコフ 沖津 哲郎 8月 19日	十 文字 グリゴ リイ 櫻井 久一 7月 25日	岩 谷 堂 エウゲ ニヤ 菅原 多し子 7月 23日	北 鹿 オリガ 藤原 孝子 7月 15日	ジノ ヴィア 成田 道子 2月 21日
------------------------------------	------------------------	---------------------------------------	--	--	---	---------------------------------------	---	---	--	--	------------------------------------

※永遠の記憶をお祈りいたします。



※婚配おめでとうございます。幾歳も！